

# かわの通信

2016年2月21日

vol. 111  
冬、そろそろ  
終わりの気配  
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>  
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

3/19(土) かっぱの会 総会です



## 報告 狭山公園 宅部池のかいぼり参加して

子供のころから宅部（やけべ）池や周囲の狭山公園は格好の遊び場。今も子供連れで四季折々を楽しむジョギングコースだ。昨年入会した北川かっぱの会からのかいぼり実施の案内をみて、参加の気持ちはごく自然なものだった。

1/17(日)総勢約 60 人のメンバーが集まる。所長挨拶、スタッフの事前説明で、かいぼりの大切さと熱意が伝わる。水を抜いて泥沼状態になった宅部池は非日常的で不思議な光景だが、池に敷かれたベニア板をつたって池に入っていき皆さんを感慨深く見守った。そして、いざ池に入ると泥に胸の下までずっぽり埋まり身動きがとれない。しかし、しばらくするとタライを抱えて上体を浮かせながら膝を使い、移動できるようになっていた。

真冬の冷たい泥に埋もれ、さすがに体は冷えたが、時間が経つのを忘れて夢中で泥を網ですくった。トウヨシノボリや小さなエビ。大きなコイも網に入ってきた！

そんなきついかいぼり作業だったが、大勢の大人たちが本来あるべき自然に戻そうと熱意をもって活動しているのを肌で感ずることができ気持ちの良い充実した一日になった。子供のころからの自慢の遊び場をさらに魅力的にして、子供たちが遊べる環境として残したい、と思う一日だった。(小島)

## かいぼりでの生物調査結果

1/17 に実施された都立狭山公園内、宅部池のかいぼり結果を公園管理者であり、主催者の西武・狭山丘陵パートナーズから得ましたのでまとめてみました。(詳細は狭山公園ホームページで)

### ●捕獲結果

今回の結果を前回(2010年11月)と併せて示します。今回は残った水量も少なく、特に小型魚に対しては前回より採捕効率が格段に上がっているものと思われます。

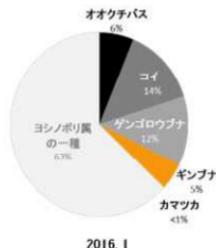
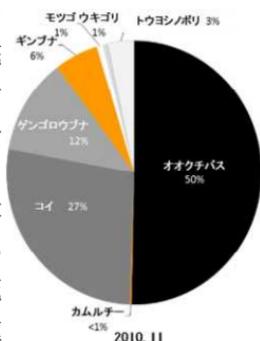
①魚類：オオクチバスやコイなど計6種類、289個体が捕獲されました。うち、外来種など

宅部貯水池 かいぼりによる魚類捕獲結果

	種名	2010年11月		2016年1月		備考	
		捕獲数	(%)	捕獲数	(%)		
魚類	コイ(イロゴイ含む)	271	27.4	40	13.8	国内移入種	
	ゲンゴロウナ	117	11.8	35	12.1	国内移入種	
	ギンナ	55	5.6	13	4.5	国内移入種	
	モツゴ	8	0.8				
	カマツカ			1	0.3	国内移入種?	
	オオクチバス	498	50.3	18	6.2	外来種	
	ウキゴリ	6	0.6				
	ヨシノボリ属の一種	33	3.3	182	63.0		
	カムルチー	2	0.2			外来種	
合計		990		289			
カメ	アカミミガメ			2		外来種	
	クサガメ			1			
	カエル	ウシガエル		9		外来種	
	エビ(カニ)	テナガエビ	多数		97		
		アメリカザリガニ	2		1		外来種
	トンボ(ヤゴ)	モクズガニ	5		8		
		クロイトトンボ			1		
		コオニヤンマ			1		
		オオヤマトンボ	多数		15		
	二枚貝	コシアキトンボ			9		
ヌマガイ				21			
	イシガイ			58			

‘放流された’と考えられるものが5種、個体数で37%を占め、宅部池造成時から生息していたと考えられるものはヨシノボリ属の一種(\*)のみでした。

オオクチバス(写真上)の個体数が、事前予想よりかなり少なかったことは良かったのですが、流域に多く生息し、この地の在来種と考えられるモツゴが一匹も捕れ



魚類の個体数組成の変化

なかったことは大変心配なことです。また、ハゼの仲間のヨシノボリ類は前回より個体数自体は増えているものの、宅部池の広さから考えるとまだまだ少ないと言えるでしょう。

## ②その他の生物

前回と同様に、個体数が最も多かったのはテナガエビでした。外来種のアカミミガメやウシガエルの成体の他、数種類のトンボのヤゴなど、計 12 種類が捕れましたが、今回の目玉は、淡水産二枚貝（写真中）のイシガイとヌマガイが見つかったことです。イシガイは都内初記録だそうです。現在、池内にタナゴ類は棲息していませんが、タナゴの繁殖にはこれらのイシガイ類が必要不可欠で、イシガイ類の繁殖にはヨシノボリ等が必要という複雑な関係があります。（→次号の生き物講座のテーマに取り上げます）

## ●今回の結果についての謎

・事前に多数目視確認されていたオオクチバス幼魚の捕獲数が少なかった

→水を減らした段階でサギ類等の鳥の  
‘ごちそう’になったの可能性が推測されますが・・・。

・冬越しするウシガエルの幼生が今回も全くいない（喜ばしいが・・・）

・いわゆる水草は無いが、コイやフナなどもまったく再生産できていない。

## ●今後の宅部池を思う時

20 年位前までは、小さな網で幼稚園児でもヨシノボリをたくさん捕まえることができました。宅部池には、本来多数が生息していたはずのモツゴやヨシノボリ類など由来の小魚のみならず、植物も含む様々な水生生物がバランス良く生息（育）する、多様性の高い「里山のため池」を思い描きます。この先も、'積極的な人為的管理もできる'公園という特性を活かした継続的な取り組みが期待されますね。（康）

※以前トウヨシノボリとしていたもの－現在は文献によってクロダハゼと記載される



泥との戦い

## 予告 3/19(土) 総会を開催します

3/19 16時より中央公民館で総会を開催します。2015年度の活動総括と決算、2016年度の活動方針と予算などについて討議します。会員皆様の参加をお待ちしています。

2016年の活動方針では、以下の事項を中心に検討します。

- ①北山公園の水環境の改善と在来生物の保全 …北山公園に生息する在来生物（特に絶滅危惧種）を守っていくため、調査結果に基づき、通年で水（流水と止水）確保策や絶滅危惧種などの在来生物の保全策を検討します。
- ②北川や北川流域の環境の改善 …北川の落差工の改善策の検討や、北川最上流部、狭山公園内宅部池の再生に向けて、引き続き公園管理者などとの意見交換を行っていきます。
- ③八国山の公園づくり事業を注視 …八国山緑地で「多様な生物が生息する都市公園づくり事業（東京都の事業）」がはじまり、この3月には保全や利用に関する計画が策定されます。4月以降はこれらの計画に基づく伐採や下草刈りなどの保全作業や施設の整備が始まる予定ですが、これらの実施状況を注視していきます。
- ④外来生物の防除 …引き続き北山公園「しょうちゃん池」を中心に北川でのアカミミガメ、ウシガエルなどの防除を行っていきます。オオフサモの駆除については、実施体制の改善を検討します。
- ⑤継続的な環境調査の実施 …地域の環境の現状を把握していくため、魚類調査や水質調査、ゴミ調査などを継続的にを行います。
- ⑥北山わんぱく夏まつりの開催と環境学習の支援を継続 …次世代に引き継げるよう夏まつりの実施体制を再構築していきます。また、児童向けの環境学習講座を「いきものマップ」を活用し充実させます。
- ⑦市役所や関係団体と連携し、地域への情報発信の強化を図っていきます。

## 多摩湖堤体にシバザクラを植えようとする動きが

「観光の振興」を理由に、多摩湖堤体にシバザクラを植えようとする動きがあります。シバザクラは費用も安く、維持管理も楽との説明（地元の自治会が維持管理を行うという説明）で、試し植えをさせてほしいという要望が推進派から出ているようです。堤体の土地所有者は東京都水道局であることから、東村山市からシバザクラを植えることについて、都水道局に打診している状況のようです。

実は多摩湖の堤体では希少な植物が発見されています。堤体には、ノジトラノオやクサレダマ、コケリンドウなどの絶滅に瀕した希少な植物が生育していましたが、2003年～2009年にかけて実施された堤体の耐震強化工事により、姿を消してしまいました。しかし、堤体の中にはそうした植物の種子が未だに残っており、一昨年から昨年にかけて、ミノボロスゲとスズサイコという希少種が相次いで発見されました。

現在、堤体には多くの外来生物が繁茂していますが、埋土種子から見たこの場所の潜在的な質は高く、管理を上手に行うことにより狭山丘陵の生物多様性の向上に大きく貢献するものと考えられます。また、シバザクラを植栽することによる堤体へのダメージも心配されることです。この問題について、北川かっぱの会としては、希少種を守っていくことや堤体にダメージ



を与えない視点からの検討が必要と考えます。

## かっぱの楽校 生き物講座 81 正月の蝶！？



年々暖冬の傾向が進み、今年の正月も一段と暖かい日が続きました。毎年最初のフィールド観察は、正月に八国山や北山公園に出かけ、越冬している野鳥たちの良い写真が撮れないかとシャッターチャンスを狙います。

ところが2016年最初の1枚目の撮影は、なんと蝶だったのです。今まで正月に、蝶の撮影どころか舞っている姿を見たことすらありません。それが八国山の草地を2頭のキチョウが飛んでいたのです。しばらくしてオオイヌノフグリで吸蜜したところを撮影できました。

蝶には成虫で越冬する種がいくつかあります。東村山でもこのキチョウやムラサキシジミ、キタテハなどが成虫で越冬し、冬でも暖かい日には姿を現すことがあります。しかし、さすがに冬真っ盛りの正月は冬眠しているものです。こんなところでも温暖化により自然の歯車が狂っているのでしょうか。（ピー永島）

## 「野鳥をみよう 北川・八国山」

1月23日、南台・富士見小土曜講座が、児童や保護者ら総勢15人が参加して行われ、北山公園・八国山で野鳥を観察しました。

最初にしょうちゃん池では、年末から居ついているオオバンが見られました。ここではこの冬初めて見られた珍しい鳥だと知ってみんなびっくり。園路を歩いていくと草地にツグミがいてミミズを地中から引っ張り出して食べていました。林に差し掛かるとモズのオスが飛び出してきました。八国山ではオオタ

カが現れ、林の中ではアオジが草の種をついばんでいました。まずまず鳥たちは姿を見せてくれましたが、お楽しみの野鳥ピングは誰も達成できず・・・この日はこの冬一番の冷え込みで雪の心配もあったので、残念ながらショートカットのコースで



早めの撤収となりました。写真：オオバン（ビー永島）

## 報告 川端会議～北山公園整備計画意見交換会～

2/6(土)の今年度第3回目の意見交換会に参加しました。北川かっぱの会より「外来生物の駆除」を提案。対象は従来通りのミシシッピーアカミミガメ、ウシガエル、オオフサモです。特にミシシッピーアカミミガメは籠網仕掛けに加え日光浴罌仕掛けを併用する提案をしました。

また、ウシガエルの駆除も課題で、昨年初めて実施したウシガエル捕獲

大作戦が子供たちに大変人気があったので、今年も実施する計画です。

市の方からは今年度から2年計画で進めている北山公園生物調査について資料をもとに中間報告がありました。実施主体のNPOパースの説明では、希少な生き物が残っているのが確認され生物多様性を守る意味での北山公園の自然の重要さが指摘されました。

## 報告 第2回 かっぱウォーク 玉川上水・野火止用水

12/23(祝)、第2回玉川上水+野火止用水かっぱウォークを開催しました。スタートは武蔵砂川駅です。玉川上水ぞいにしばらく歩くと小平

監視所が見えてきます。ここで玉川上水が野火止用水に分流するのを見えますが、玉川上水から来た水は地下に入り多摩湖に、そして、下水



処理場から地下を通して来た再生水が玉川上水(写真)、野火止用水に流されています。水が入替わっているのです。そんなマジックみたいな小平監視所を過

ぎ、野火止用水にはいると川と歩道を隔てるフェンスもなくなりました。途中、東大和市駅近くの薬用植物園を見学して、武蔵野の面影の残る川ぞいを進みます。八坂駅を經由して久米川駅が今回のゴールでした。約7kmのウォークでした。久米川駅といえば居酒屋の街です。ウォークの後、忘年会に突入したのは言うまでもありません。(はんべえ)



## 2016年 3月～4月 活動スケジュール

**ホ** は **ホ**ランティア募集 の略  
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かっぱの会)  
または直接会員にお知らせください

**かっぱ総会** 3/19(土) 16:00～18:30 中央公民館 第1集会室  
東村山駅東口徒歩2分。

**定例川そうじ** 毎月第2土曜 9-11時  
3/12、4/9(土)

集合:北山小正門前 **ホ**

### かっぱ定例会

3/26(土) 12:00～12:30 北山公園  
(雨天時は茫々亭)、6月頃までの活動について検討します。

### 春のうららかウォーキング **ホ**

(西武・狭山丘陵パートナーズ主催)  
3/26(土) 当日受付: 9:00～10:30  
狭山公園パークセンター、東大和公園→八国山緑地→北山公園→狭山公園(ゴール)の約10kmコース  
(所要約3時間半; 小雨決行、荒天中止); 北川かっぱの会では、北川で採れた魚の展示と北山公園・北川のガイドを行います(12:50～13:40～各30分程度)→11:00～魚とり、展示、あとかたづけ

### 狭山公園「湧水の池」の生き物調査 (西武・狭山丘陵パートナーズ主催)

3/12(土) 9:30～正午頃; 集合: 狭山公園パークセンター; 「たっちゃん池」の上流にある「湧水の池」の泥や落葉の中に潜む生き物(ヤゴなど)を調べます。併せてアメリカザリガニなどの外来生物の駆除も行います。今年も主催者、狭山公園友の会の方々とともに作業や観察を行います。生き物好き大集合!

### アカミミガメ捕獲用の日光浴ワナの工作 **ホ** 3/12(土) 13:00～

狭山公園パークセンター集合; 北山公園しょうちゃん池のアカミミガメ駆除作業で使う「日光浴ワナ」を製作します。都立公園で使用する日光浴ワナを製作する西武・狭山丘陵パートナーズとの協働作業となります。

### 北山公園しょうちゃん池の外来生物駆除作業 **ホ**

4月末～10月→月1回程度。未経験者も大歓迎

## 多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

3/6(日), 4/10(日) 9:00 ~

3/16(水), 3/19(土) 13:30 ~

畑にて維持管理作業と収穫

## いきものマップ 3月発行!

かっぱの会では、この度新たなマップを発行することとなりました。北川・北山公園・八国山のどんな所にどんな生き物がいるのかわかを示したマップです。北川、林内、林縁、草地、水辺等の環境ごとに、よく見かける生き物を多くの写真で紹介しています。また、当会で取り組んでいる貴重種の保護や、外来生物の駆除に関する解説もしています。自然や生き物のことをあまり知らない人でも、このマップを見ればそれらがわかりやすいように作成しました。自然観察や環境学習のお供に、ぜひ皆様お役立て下さい。(ピー永島)

### ご寄付に深謝

佐藤方博さん

ありがとうございました。

## 北川かっぱの会 会議日程

3/19(土) 16:00~18:30 総会

3/26(土) 12:00~12:30 6頁参照

### ●新会員登録

藤井美樹さん(東村山市)

昨年より親子で活動に参加しています。身近な環境を守る高い志、楽しい活動に引かれて会員になりました。宜しくお願ひ致します。

### ●編集後記

先日、川端会議に出席した。報告された北山公園生物調査は驚きだった。稀少種の話はそんなもんがあるんだという驚き。とともに外来種がはびっこっていることも知る。アライグマもいるとか。なかなかやっかいた。(遊星歯車)

## かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間 3000 円  
支援会員：2年間で 2000 円  
学生は2年間で 1000 円  
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

### ●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店

(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

## 北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 82 円  
新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

●発行:北川かっぱの会 連絡アドレス  
CZT12221@nifty.ne.jp